

特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構

実践健康教育士養成のための講座募集要項

主催：特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構 後援：日本健康教育学会

参加型の演習を中心とした連続講座を通して、現場で役立つ能力を身につけることを目指します。今回は、平成 20 年から実施される「特定健診・特定保健指導」の計画、実施ガイドラインに沿い「メタボリックシンドローム」について「健康教育実践概論(食)」(12月15日)や「健康教育実践概論(運動)」(12月8日)を学んでいきます。また「統計情報処理」(12月22, 23日)では講義時間を増設し、即戦力となるよう基礎から応用まで詳しい演習を行ないます。

< 講座の内容 >

日程・受講科目名・単位数および講師名

回数	年/月/日	科目名*	単位	予定講師名**
1	2007/10/6(土)	<必修> 健康教育原論	2	川田智恵子(愛知県立看護大)
2	2007/10/20(土)	<必修> 健康教育目標論	2	宮坂忠夫(東京大学名誉教授) 鎌田尚子(女子栄養大)
3	2007/11/10(土)	<選択> ヘルプメニュー展開論	2	清水洋子(東京医科歯科大)
4	2007/11/17(土)	<必修> 健康教育原論	2	大津一義(順天堂大) 川口毅(財団法人全日本労働福祉協会)
5	2007/12/8(土)	<選択> 健康教育実践概論 「メタボリックシンドロームの予防と運動」	2	久野譜也(筑波大) 実技(未定)
6	2007/12/15(土)	<選択> ソーシャルマーケティング論(基礎編) 健康教育実践概論(調整中)	2	武見ゆかり(女子栄養大) 上田玲子(トランスコウブ総研)
7	2007/12/22(土)	<選択> 健康関係法規	1	福渡 靖(NPO ヘルプメニュー・アドバイザー)
		<選択> 統計情報処理	1	宮城重二(女子栄養大)
8	2007/12/23(日)	<選択> 統計情報処理	2	宮城重二(女子栄養大)
9	2008/1/12(土)	<選択> 健康社会学 コミュニケーション論(基礎編)	2	星 旦二(首都大学東京) 秋葉栄久子(パレット健保組合) 金丸徳久(日本メタボリック・トピックス)
10	2008/1/26(土)	<選択> 健康教育実践概論 健康社会学	2	武田 敏(千葉大) 川田智恵子(愛知県立看護大)
11	2008/2/16(土)	認定試験		川田, 大津, 川口, 福渡, 鎌田 他

* 2007.12/22、12/23 は連続受講科目であり、内容は別紙参照

* 科目の内容については、パンフレット「健康教育士養成講座のご案内」を参照してください。

** 都合により、講師変更の場合があります。

場 所：女子栄養大学駒込キャンパス(東京都豊島区駒込 3-24-3)

JR 山の手線、地下鉄南北線 駒込駅より徒歩 5 分

設定単位数：1 回(1 日)の講座で 2 単位。全講座で 16 単位設定。

資格認定試験の受験資格には 12 単位の取得が必要です。

12 単位以上を取得し、認定試験に合格された方に、実践健康教育士の資格を授与します。ただし、レベルアップのため、全 10 回(20 単位)の履修を推奨します。

- <受験資格> 日本健康教育学会に所属していること。
 学校教育法による大学卒業もしくは同等以上の学識を有していること。
 学校、職場、地域、医療、福祉などにおいて健康教育に関わる実務経験を有していること。
 その他、認定委員会において特に適当と認められた者。
 *上記の ~ の全て、または と に該当する者。
単位を取得しないで、聴講することも可能です。

申込方法：下記申込用紙に所定の事項を記入し、ファックスでお送りください。
 後日、別途詳細な案内をお送りします。

申込期限：平成19年9月15日(土)まで。定員60名。

*なお会場の都合から定員になり次第締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

参加費用：講座1回(1日・2単位)2万円。認定試験の検定料は1万円。

資格取得には、12単位(原則として必修6単位、選択6単位)が必要です。

ただし、単位を必要としない受講費用については、1日3千円で受講できます。

「統計情報処理」については、連続での受講が原則です。聴講費のみの場合はテキスト等込みで1万円とさせていただきます。

(問合せ先) 〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21
 女子栄養大学 保健管理学研究室内
 NPO法人 日本健康教育士養成機構 実践健康教育士養成講座係(担当:須賀)
 TEL 049-283-2317 FAX 049-284-2861
<http://www.eiyo.ac.jp/jheto/>
 E-mail:npoh@eiyo.ac.jp

申し込み日 平成19年 月 日

実践健康教育士養成講座 申込用紙

FAX 049-284-2861

(ふりがな)

氏名： _____

男性 ・ 女性

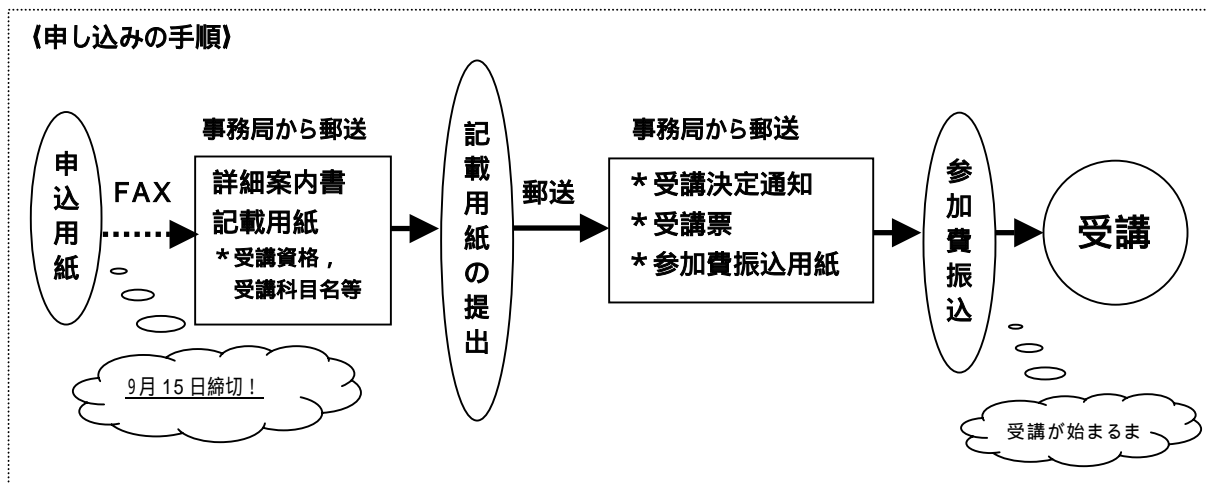
所属： _____

連絡先： 勤務先・自宅(どちらかに○をして下さい)

住所 〒 _____

電話 () _____ , FAX () _____

E-mail _____ @ _____



「統計情報処理」講義内容

担当：宮城 重二（女子栄養大学教授）

12 月 22 日 (土) 午 後	<p>1. 統計調査及び統計指標の基礎</p> <p>1) データと情報</p> <p>(1) データとは、データの区分</p> <p>(2) 情報とは</p> <p>2) データ整理の要点</p> <p>(1) 実数と比率の意味</p> <p>(2) 比率の算出法と図示法</p> <p style="padding-left: 40px;">複数回答の場合 サブ質問の場合</p> <p>3) 統計指標の比較・応用</p> <p>(1) 「平均値」「比率」の比較・応用</p> <p>(2) 「加齢・経年変化」の比較・応用</p> <p>(3) 「ライフイベント・ストレス度」の日米比較</p> <p>2. 統計調査の方法</p> <p>1) 母集団・標本とは、標本抽出法</p> <p>2) 調査法の原則</p> <p>(1) 方法の種類、目的、手順</p> <p>(2) 質問文（質問紙法）の作成法</p>
12 月 23 日 (日) 午 前	<p>3. データベースの作成（「エクセル」使用）</p> <p>1) ケースと変数</p> <p>2) 入力方法</p> <p>(1) コード化と入力方法</p> <p>(2) 複数回答と入力方法</p> <p>3) 入力データのチェック方法</p> <p>4) 変数の追加方法</p> <p>(1) 自覚症状得点（症状数の総和）</p> <p>(2) BMI（身長と体重より算出）</p> <p>(3) 量的データを質的データへ</p> <p style="padding-left: 40px;">BMI値から肥満度3区分へ</p> <p style="padding-left: 40px;">最小血圧と最大血圧から血圧3区分へ</p> <p>4. データの集計・解析（「エクセルのピボットテーブル」使用）</p> <p>1) 単純集計の手順、整理の仕方</p> <p>2) クロス集計の手順、整理の仕方</p> <p>3) 結果のグラフ化の手順、整理の仕方</p>
12 月 23 日 (日) 午 後	<p>5. 検定法</p> <p>1) 単純集計の検定（適合度の検定）</p> <p>2) クロス集計の検定（独立性の検定）</p> <p>3) 平均値に関する検定</p> <p>4) 教育効果等の比較・判定</p> <p>6. プレゼンテーション（パワーポイントの活用）</p> <p>1) 図表の貼り付け</p> <p>2) アニメーションの設定</p>

参考書) 宮城重二著「健康・栄養・生活の統計学

～データのまとめ方・使い方」光生館, 2005